

2020年9月28日

株式会社 NUC

超高電圧・高電圧直流電力ケーブル絶縁用架橋ポリエチレン生産設備を新設

～ 2020年度7月から商用生産開始 ～

株式会社 NUC（代表取締役社長：北原 英一郎、本社：東京都港区、資本金 20 億円／以下、当社）は、このたび、超高電圧・高電圧直流(HVDC*)電力ケーブルの絶縁用途に使用される架橋ポリエチレンの新規生産設備が完成し、本年度（2020 年度）7月から商用生産を開始いたしましたのでお知らせいたします。

グリーンエネルギーである太陽光発電・風力発電等の再生可能エネルギーが世界で急速に普及しており、また欧州を筆頭に国際送電ネットワークが進展する昨今において、送電容量の増加および効率化による送電時のエネルギーロスの低減が求められています。そこで、この要求を満たす HVDC 電力ケーブルが開発され多く使用され始めました。これに合わせて HVDC 電力ケーブル用の絶縁材料である架橋ポリエチレンの需要も急増しています。

当社は超高電圧・高電圧電力ケーブル用製品として電気特性に優れクリーン度が極めて高い架橋ポリエチレンの世界的なメーカーとして市場から高い評価を得ています。これまでの交流電力ケーブル用製品に加え、需要が急増する HVDC 電力ケーブル用製品を新たに開発し最新設備で生産した新商品を加えることで、世界の電線材料市場でトップクラスのマーケットプレゼンスがより確固たるものとなると考えております。更に、国内ポリエチレン市場における電線材料分野での販売シェアの更なる拡大が期待されると考えております。

当社の HVDC 電力ケーブル絶縁用架橋ポリエチレンは、直流用として重要な空間電荷特性に優れており、また、交流用以上に高い電気抵抗を有しています。その結果、VSC/LCC 方式*などの直流送電方式に依らずご使用頂けます。また、従来の国内・国際規格ケーブル規格に合わせた設計としております。更に、交流電力ケーブルと同じ生産設備で HVDC 電力ケーブルを生産できるなど電線製造性も配慮し工夫を施しています。これら優れた特性により、幅広い HVDC 電力ケーブルに適用することが可能です。このたびの新生産設備は、これまでに培った技術をさらに進歩させクリーン度を高いレベルで管理することが可能で、厳しい品質を要求される±525kV 級の HVDC 電力ケーブル絶縁用架橋ポリエチレンを生産することが可能です。将来の更なる高電圧化に対応することも期待されます。

当社は、ENEOS グループの一員として「低炭素社会形成への貢献」の実現に向けた活動を推進しており、このたびの新商品・新生産設備の商用化により世界的に拡大している再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせは、以下までお願い致します。

株式会社 NUC 事業本部 販売部

電話 03-5782-9162(代表)

(用語の説明)

* HVDC: High Voltage Direct Current

* VSC/LCC 方式： VSC:Voltage-Sourced Converter 電圧型コンバータ、LCC:line-commutated converters 相整流変換器

以上